

# 施策評価シート （評価対象年度：平成30年度）

## 1. 基本的事項

① 施策名〔施策小〕	2 文化・芸術にふれる機会の充実	② 施策番号	7705
③ まちづくりの方向〔政策(章)〕	1 すべての人が尊ばれ、その個性が発揮できるまち		
④ 基本施策〔施策大(節)〕	5 まちの風土や歴史的資産が今に息づくとともに、これらを基盤とした新たな文化が花開くまちをめざします		
⑤ 基本的方向〔施策中〕	2 市民文化の充実		
⑥ 担当部名	⑦ 担当課名		
教育部	文化振興課		

## 2. 施策の現状把握

### [1] 施策の対象・意図

① 施策の対象(誰、何に対して施策を実施するのか)	文化ホール
② 意図(対象をどのような状態にしたいのか。何を狙っているのか)	指定管理者が、当該施設の適正な維持管理を行い、また市民の多様なニーズに応えられるよう、独自のノウハウを活かした効率的・効果的な文化ホールの運営に係る事業ができるよう管理監督することで、市民が多様な文化・芸術にふれる機会を充実する。
③ 環境(この施策を取り巻く状況はどのような状態なのか、また、国や府の動きはどのような状態で、今後どのように変化していくと考えられるか)	民間のノウハウを活用し、市民が多様な文化・芸術にふれる機会を充実させる。指定管理者には、より一層創意工夫を促す。

### [2] 施策指標及び推移

	施策指標(成果指標)	単位	指標とした理由・考え方
①	入場者数 計算式	人	施設の利用状況については、入場者数が、重要な数字であると考えたため、指標とした。
②	文化ホール協議会提案事項数 計算式	回	いろいろな立場の委員から、多様かつ有益な意見を提案いただくことで、文化ホールの、サービス向上に繋げることができると考え、これを指標とした。
③	文化ホール協議会提案事項数 計算式	件	いろいろな立場の委員から、多様かつ有益な意見を提案いただくことで、文化ホールの、サービス向上に繋げることができると考え、これを指標とした。

指標名		単位	実績					目標		備考
			H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2目標			
①	入場者数	人	目標値	45,000	45,000	45,000	45,000	45,000		
			実績値	43,421	39,331	39,331	—	—		
			達成率	96.5%	87.4%	87.4%				
②	文化ホール協議会開催回数	回	目標値	1	1	1	1	1		
			実績値	1	1	1	—	—		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%				
③	文化ホール協議会提案事項数	件	目標値	3	3	3	3	3		
			実績値	7	4	4	—	—		
			達成率	233.3%	133.3%	133.3%				

### [3] 施策を構成する事務事業

事務事業名	成果指標					総事業費(千円)			事務事業評価結果		重点化
	指標名	単位	H29実績	H30実績	R1見込	H29実績	H30実績	R1見込	総合評価	今後の方針	
1 文化ホール指定管理事業	入場者数	人	39,331	38,596	—	31,643	32,624	30,275	A	ア	◎
2 文化ホール協議会事業	文化ホール協議会提案事項数	件	4	4	—	833	856	856	B	イ b	○
3											
4											
5											
6											
7											
8											
計	2					32,476	33,480	31,131			

### 3. 施策の評価

評価の視点	説明・コメント等
①本施策の意図すること(目的)は、上位施策(施策中)の達成にどのように貢献しますか。 (施策所管課等としての考えをお示ください。)	指定管理者を管理監督し、効果的・効率的に施設を運営することで、市民が多様な文化・芸術にふれる機会の充実に貢献する。
②本施策で設定した指標から何が読み取れますか。 (2[2]の表の数値の推移から分析できることをお示ください。)	文化ホール入場者は増加傾向にあり、文化・芸術にふれることができています。
③本施策において市民、団体等との役割分担や市の関与は適切ですか。 (施策所管課等としての考え(理想と現実)をお示ください。)	市と指定管理者は、業務内容について協定書を交わし、取決めを行っているため、事業は適切であると考えます。
④施策を構成する事務事業は適正ですか。 (2[3]を踏まえ、施策目標に対し事務事業にずれはないか、数は適正かについて考えをお示ください。)	指定管理制度導入にあたっては、十分検討を行い、業務内容についても、協定書を交わし、指定管理料については、適正な手続きを行い金額を決定しているため、適正である。
⑤施策を構成する事務事業の中で重点化及び縮小化についてどのように考えますか。 (2[3]において、◎、○、▲とした理由をお示ください。)	指定管理者制度の導入により、民間のノウハウを活かした効果的・効率的な運営により、文化ホールのサービスの質、利便性が向上しているため、今後も重点的に継続していくことが重要であると考えます。

### 4. 一次評価(所管課評価)

	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある
一次評価	B	計画通り事業を進めることが適当であるが、施設の老朽化が顕著で、計画的に修繕を実施していく必要がある。	

### 5. 改革、改善案

即時的対応 (すぐに取り組む改善案)	館の修繕については、安全性を重視し、緊急性の高いものから早急を実施していく。
短期的対応 (1、2年のうちに取り組む改善案)	指定管理者と連携し、市民が多様な文化・芸術にふれる機会を充実させる。
中長期的対応 (3~5年をめぐりに取り組む改善案)	多額の予算が必要である、舞台設備等の修繕については、十分精査し、予算要求を行っていく。

### 6. 二次評価(行革・財産活用室評価)

	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある
二次評価	B	文化・芸術にふれる機会の場の指定管理者制度を活用した提供が適切に行われている。指定管理者と連携を密にとり、利用者の視点に立った文化ホールの運営に引き続き努められたい。 施設設備の老朽化対策については、隣接自治体との広域連携を含めた、様々な可能性の検討を進められたい。	